



学 ぶ

佐世保市立山澄中学校
学校だより 第21号
令和8年1月21日
校長 後藤 益拓

学校教育目標 「気づき、考え、正しいことを実行する生徒の育成」
校訓 「健康・自主・責任・礼儀」

生徒会スローガン 「全力謳歌～共に高みを目指して～」

進路学習『高校生に学ぶ①』

先週の私立高校推薦入試、そして今週の一般入試と、いよいよ3年生は進路実現に向けた正念場を迎えました。

先日行われた「高校生に学ぶ」では、昨年度の本校卒業生を招き、現在の高校生活について語ってもらいました。今回は私立高校から、佐世保実業高等学校、西海学園高等学校、九州文化学園高等学校の先輩方が来校してくれました。

高校生活とはどのようなものか。その答えを、一番近くにいる「先輩」たちが届けてくれました。公式な情報だけでは伝わらない、放課後の空気感や部活動の本当の楽しさ、そして勉強との向き合い方。高校生の皆さんが時折笑顔を交えながら語ってくれたエピソードの一つひとつが、生徒たちの心に深く響いているのが表情から伝わってきました。この貴重な経験が、中学生という今の時間をどう過ごすべきかを見つめ直す、大きな刺激となったはずです。

最初は緊張からか、なかなか質問が出ない場面もありましたが、先輩方の明るく誠実な受け答えに触れるうちに、会場は活気にあふれた雰囲気になっていきました。身近な先輩の言葉は、教師や親の言葉以上に胸に響くものがあります。生徒たちが高校生活への具体的なイメージを持ち、自分自身の進路を「自分事」として捉え直す貴重な機会となりました。

2月には第2弾として、公立高校の先輩方を迎える予定です。こうした交流を通じ、一人ひとりが自らの未来をたくましく描き出すことを期待しています。



佐世保市青少年育成研修会

1月17日に清水地区コミュニティセンターで「佐世保市青少年育成研修会」が開催されました。本校からも生徒会長が代表として参加し、「ふるさと佐世保の未来をつくろう～わたしはこう考える～」というテーマのもと、堂々と自身の考えを述べてくれました。パネルディスカッションの中で、彼は本校の良さを「学年を問わず仲が良いこと」「伝統を大切にしていること」と紹介しました。さらに、地域の良さとして「挨拶をすると明るく返してくれること」を挙げた際、私は日頃から皆様が温かく生徒を見守ってくださっていることを改めて実感しました。さらに、「ふるさと佐世保をよりよくするあなたのアイデア」では、環境の大切さについて述べ、現在行われている地域と連携した清掃活動にも触れていました。こうした生徒たちの気持ちを大切にしながら本校はこれからも地域と手を取り合いながら、ふるさとを愛する心を育ててまいります。



鮮明な画像等は、ホームページをご覧ください。